

ルワンダでの中古義肢パーツ活用状況報告会 『義肢パーツ再生』プロジェクトが現地に届けるパーツの選定も 【12月20日 東広島キャンパス】

広島国際大学（学長：焼廣益秀）リハビリテーション支援学科義肢装具学専攻学生による『義肢パーツ再生』プロジェクト（※）は、かつて激しい内戦を経験したアフリカのルワンダで、義肢を必要とする人々に無償で提供する活動を続けるNGO団体「ムリンディ・ジャパン・ワンラブ・プロジェクト」（以下、ワンラブ）代表のルダシングワ夫妻による報告会を開催します。同プロジェクトは今年の2月、メンテナンスした中古義肢のパーツをワンラブに寄付し、ルワンダに届けてもらっており、当日は活用状況などが学生に報告されます。

報告後は2月と同様に、メンテナンスした中古義肢パーツの視察を実施し、選定したパーツをルワンダに届けてもらいます。

つきましては、開催概要をお知らせしますので、取材で取り上げていただきたくよろしくお祈いします。

※『義肢パーツ再生』プロジェクト

義肢装具学専攻の学生が2015年に設立。使用する人が成長したり亡くなったりして、使われなくなった義肢の寄付を受けてメンテナンスし、必要とする国の人々に届けることが目的。正しく活用してもらうため、送り先の選定を慎重に行っている。



講演するルダシングワ夫妻（2018年2月）

.....【開催概要】.....

1. 開催日時：2018年12月20日（木）18：30～20：00
2. 場 所：東広島キャンパス3号館2階322教室（東広島市黒瀬学園台555-36）
3. 対 象：『義肢パーツ再生』プロジェクトメンバー
4. そ の 他：報告会終了後、3号館1階の製作実習室に移動し、夫妻と『義肢パーツ再生』プロジェクトによるパーツの視察、選定を行います。

■取材の申し込みおよび内容に関するお問い合わせ先

学校法人常翔学園 広報室（坂井） TEL：0823-27-3102 携帯：090-3038-9927